

P o l j e

〔ポリエ〕とは、石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことです。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには建っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX:08396-2-2622
E-mail : akiyosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP : <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

秋吉台 これからが本番、錦繡の秋に期待

10月になって気温や天気などが目まぐるしく移り変わりました。当初はまだまだ暑い日が続くと思っていたのですが、ほぼ週末ごとの降雨で暑さ、涼しさから一転、肌寒さを覚えることも。半袖シャツから長袖シャツ、時にはその上にもう1枚羽織ることもあります。しかし秋吉台のようすはあまり変化はないようです。例年ならとくに咲いているウメバチソウやムラサキセンブリが、猛暑など過酷な環境を耐え抜いてようやく咲き始めました。そんな中でセイタカアワダチソウの黄色い花がひとときわ鮮やかで目を引きまします。草原を見渡すとなんだか複雑な気分ですが、これからが秋本番といったところでしょう。（写真は10月27日の北山のようす）



季節の花 いろんなことに耐えて咲くんです

キツリフネ 林縁など少し湿気のあるところに生えるツリフネソウ科の一年草。黄色い花が糸のように細い花柄に吊り下げられて咲きます。この場所では毎年数百株が群生していましたが3年ほど前からシカの食害に遭って激減しています。

コシオガマ 草原など日当たりのよいところに生えるハマウツボ科の一年草。淡紅色のきれいな花が草むらの中からチラホラ見えると「今年も咲いたか」と感動します。群生している場所は草刈りで全部刈り取られてしまっ残念です。一年草なので開花前に刈られたらタネが落ちず、来年以降が心配です。

ツルニンジン 草原や林縁などに生えるキキョウ科のつる性多年草。葉の付き方に特徴があり、花のない時でも見分けができます。花は丸い釣鐘状で赤紫色の斑点があります。今年は花数も多く、大きさも心もち大きいように感じます。



観察会「秋吉台の化石」

逆転している地層が分かる

秋吉台の化石の観察会を行いました。真名ヶ岳から帰水へと下りながら藤川先生のお話を聞き、石灰岩の中のフズリナなどの化石を観察しました。通常、地層は下層から上層へと時代が新しくなりますが、この付近では上層から下層へと新しくなっており、地層が逆転していることが分かります。それが化石を調査、研究することによって明らかになっていくのです。フズリナなどはあまり目立たない化石ではありますが、実は重要な化石なのです。



観察会「秋の花」

秋の花 これからたくさん 見るつmoi

今にも雨が降りそうな天気になったので、中止しようかと思案していたら、参加者の皆さんが到着しはじめました。そうするうちに空が明るくなったため実施することに決定。早速、地獄台方面へ出発。しかし、予想していたとおり花は少なく、この時期には多く見られるはずのヒメヒゴタイなどは数株だけでした。地獄台の頂上付近でようやく小さなウメバチソウ、ムラサキセンブリを確認しました。秋の花はこれからたくさん見られると思います。



旅する蝶 アサギマダラがやって来た！！！！

エコフィールドに植えているフジバカマに、アサギマダラがやって来ているのを初めて見つけました。アサギマダラを呼ぼうと思ってフジバカマを植えてから約10年、初の飛来です。ようやくというよりも、よくここに気づいたものだと思心と感激。記念写真を撮ろうとそっと近づくと、さりげなくヒラヒラと上空へ。翌日は2頭、3日目は3頭。もっともっと乱舞、乱舞。



11月の行事

11月 8日(土) 体験学習「美東ゴボウの収穫体験」

秋吉台特有の土壌で育った美東ゴボウの収穫を体験しましょう。

11月30日(日) 観察会「冬眠中のコウモリを見る」

洞窟で冬眠中のコウモリのようなすををそっと観察しましょう。

